

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	14-059	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
<p>Is moderate alcohol consumption a risk factor for kidney function decline? A systematic review of observational studies. 中程度の飲酒は腎機能低下のリスクとなるか? 観察研究の系統レビュー</p>		
執筆者		
Buja A, Vinelli A, Lion C, Scafato E, Baldo V.		
掲載誌		
J Ren Nutr. 2014 Jul;24(4):224-35. doi: 10.1053/j.jrn.2014.03.005.		
キーワード		PMID
飲酒、腎機能、文献調査		24832793
要 旨		
目的		
飲酒と腎機能不全の関連を系統的な文献調査を行い明らかにすることを目的とした。		
方法		
<p>1985年～2013年6月までのMedlineとScopusの文献調査を飲酒及び腎不全をキーワードにコンピュータ検索を用いて行った。その後2名の研究者が検索で抽出された430報についてタイトル、要約を確認し、コホート研究、ケースコントロール研究、横断研究で原著であり、アルコール依存症についてのみでの研究でない21報について原文を確認した。疫学研究でない7報と実験的研究である2報を除いた12報とそれらに引用されていた文献から抽出された3件を加えた15件が本調査のクライテリアに適合した。研究の質は、Strengthening the Reporting of Observational Studies in Epidemiology(観察的疫学研究報告の質改善)ガイドラインで推薦されている22のチェック項目を使ってスコア化した。</p>		
結果		
<p>15報は2報がケースコントロール研究、4報が横断研究、残りの9報がコホート研究であった。交絡要因を調整した中等量の飲酒と腎機能との関係について示していた12報のうち、質が高い8報の研究(ケースコントロール研究が2件、コホート研究が6件)では有意な関連は見られなかった。しかし2件の横断研究と2件のコホート研究では逆の関係が報告された。今回の系統的文献調査からは中程度の飲酒は腎機能低下のリスク因子にならないことが示唆された。</p>		
結論		
一部の集団では飲酒と腎不全との間に逆の関連が見られたが、飲酒が腎機能に対して保護的に働くという一貫した結果は認められなかった。		